



発行者：釧路市立鳥取小学校

地域コーディネーター 大越 祥子

発行日：平成29年9月25日 第17号

つむぎ

PTAと地域の方々に算数検定を実施しました

11月17日、昨年と同様に、釧路ロータリークラブさんの受験料寄贈により、「算数検定」を希望する受験者に行いました。本校では、コミュニティ・スクール校である事を活かして、地域コーディネーターが主体となり、PTA、地域の方にお手伝いを呼び掛け実施しました。

集計や手紙の配布作業、当日のお手伝いなどを学級委員会に、コミスク推進委員や釧路鳥取てらこやスタッフなど、地域の方には当日のお手伝いをさせていただきました。この事により、先生方の負担軽減と、地域やPTAの方々が、さらに学校や子ども達の様子を知る事ができます。また、受験する子ども達にとっても、学習意欲をさらに高める良い機会にもなったと思います。算数検定では、学校のテストと違い、問題用紙と解答用紙が分かれており、解答用紙に答えのみを記入します。はじめて挑戦した1年生は、その事に戸惑っている様子もみられましたが、無事に検定を終える事ができました。今後は漢字検定にも取り組んでいく予定です。



帯広で研修会に参加してきました

先月帯広市で開催された、北海道地域学校協働活動推進研修会に参加してきました。研修会では、帯広市の教育支援活動の取り組みの発表があり、そのあとにコーディネーター研修に入りました。釧路、十勝、オホーツク管内の参加者がグループで分かれ、相手との会話を通してのコミュニケーションの技法を学びました。さらに、コーディネーターの職務で困っていることなどをそれぞれ紙に書き出し、これらを解決していくうえでの必要な事などを項目に分けながらまとめていきました。どのグループでも、



コーディネーターの大きな役割は学校と地域の連携であり、この役割を深めていく為の提案や解決策の話が多く出ていました。(情報の発信や地域やボランティアさんとの関わり方など)

もちろん研修での議論も大切な事ですが、何よりも他の地域の方達とのお話や情報交換も勉強や参考になる事が多くあり、今回もたくさんのお話を聞くことができました。これらを今後の活動に役立てていければと思います。

～ボランティアさんへ日頃の感謝を～

感謝の集い

11月22日の朝会は、勤労感謝の日を前に、児童や先生達からボランティアのみなさんへ日頃の感謝の言葉を伝える「感謝の集い」が行われました。図書・傘・見守りのボランティアさんに児童会から感謝状が渡され、各ボランティアの代表の方から、お礼や児童へのお話などのお話がありました。ボランティアのみなさんの活動は、児童の学校生活において欠かすことができない、とても大切なものです。これからもお世話になります。どうぞよろしくお願い致します。



●鳥取小学校のホームページもぜひご覧ください

